



息も
ピッタリ!



横瀬町議会だより

No.83 2009.7.15発行

5月臨時会・6月定例会



スター☆キッズ

〔会員 小学生24名、保護者18名 代表 神田恵子〕
私たちは小学生のCーダンスチームです。
黒田実穂先生のご指導のもと、毎週金曜日に練習
しています。

秩父郡内はもとより、今年は川崎の舞まつりイベ
ントにも参加してきました。

環境保護のため再生紙を使用しています

新体制でスタート
議長・副議長を選出 ②

一般質問
4名が登壇 ⑥

知ってください！議会活動
和紙の里で紙すき体験 ⑧

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は9月の予定です

お問い合わせ 議会事務局 (TEL0494-25-0119) へ

発行：横瀬町議会 編集：議会だより編集委員会

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬4545番地 TEL 0494-25-0119 FAX 0494-23-9349

まちづくりを目指して

総務文教厚生常任委員会



(後列) 小泉初男 大野 守 池田和好 若林新一郎
(前列) ○藤澤治美 ◎若林スミ子

担当するのは…

総務課、まち経営課、税務課、いきいき町民課、健康づくり課、教育委員会の所管に属する事項です。

議会運営委員会



(後列) 大野 守 新井勝之 町田勇佐久 若林清平
(前列) ○大野隆雄 ◎池田和好

担当するのは…

定例会の日程調整をはじめ、議会運営に関する事項全般を担当します。

また、議案や請願・陳情などを、どの常任委員会に付託するかを審査します。



副議長 町田勇佐久



議長 関根 修

議長就任のあいさつ

「町民の皆様と協働で」

去る5月の臨時議会において議長にご推挙いただき、まことに身に余る光栄であります。衷心より感謝申し上げますとともに、この責任の重さを痛感いたしております。もとより浅学非才な身ではありますが、本町の発展のために誠心誠意努力をいたす覚悟であります。

さて、私は、秩父広域市町村圏組合議員として6年間広域行政にかかわり、これからの広域行政は今まで以上に重要であり、秩父地域の強い協力関係が必要であると感じてまいりました。

そのためには、秩父地域の各市町間の十分な意思の疎通が不可欠であります。折しも、秩父地域において政治環境の変化が起きました。この機に秩父地域の各議会間の交流を図り、各行政機関の「信頼」の構築に努力する所存です。また、地方自治の精神を踏まえ、不偏不党・公正無私の立場を堅持し、町民の皆様と協働して町政に取り組んでまいりる所存であります。

結びに、本町議会は執行部と両輪のごとく、町民の福祉の向上を目指し、安心安全なまちづくりを進めてまいりました。多様化する町民の要請にこたえるために、さらに格段の努力を要する必要があります。また、町政発展のために町民からの「信頼」のもと、全町民の信託にこたえなければならないと考えております。ぜひとも関係各位のご協力を心よりお願いし、議長就任のあいさつといたします。

平成21年5月21日

新体制でスタート 議長・副議長を選出

福祉の向上、安心安全な

常任委員会とは



議会運営を合理的及び能率的に行なうため、一定の部門の事務に関する調査（調査権）及び議案、陳情等の審査（審査権）を行なわせるために条例で定め、常設される委員会です。

横瀬町では、2つの常任委員会を設けており、議員は必ずどちらかの委員会に所属しています。

■秩父広域組合議会議員

若林清平 若林新一郎

■議会事務局



木崎泰明局長 小室智史書記

産業建設常任委員会



(後列) 関根 修 町田勇佐久 若林清平
(前列) ◎新井勝之 ○大野隆雄

担当するのは…

振興課、建設課、上下水道課の所管に属する事項です。

議会だより編集委員会



大野 守 町田勇佐久
○若林スミ子 大野隆雄
◎藤澤治美 新井勝之

担当するのは…

審議過程がよく分かる「議会だより」編集をしています。

「表紙刷新 気持ちも新たに」
「ごあいさつ」
このたび『横瀬町議会だより』編集委員長を仰せつかりました。5月の臨時議会にて所属委員会が変わり、議員定数減の折でもあって、先輩議員諸氏もそれぞれ重責を担っておいでです。

議会だよりは、個人的議員が絶妙な調和を保って委員会を構成し、既に82号を誇っております。
透明性を継承し、町民の皆様との貴重な接点を意識
しつづ、6年間の議会活動経験を人生熟年としての経験を生かせとの宇宙よりの声に従い、公平公正、優しい心と情熱で役目を誠実に果たして参る所存でございます。
町民の皆様様のさらなるご理解を賜りますようお願い申し上げます。
ご意見等をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

藤澤治美委員長

◎委員長 ○副委員長

5月臨時会では、専決処分1件、提出議案3議案を審議し、原案どおり可決いたしました。

また、6月定例会では、提出議案6件を審議し、原案どおり可決いたしました。



出産祝い金の対象にならなかった11人にプレミアム商品券を支給


定額給付金・出産祝い金の対象外の赤ちゃんに

補正予算でプレミアム商品券を支給

平成21年度補正予算

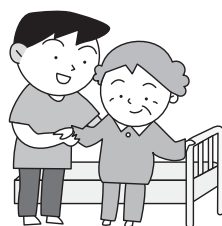
平成21年度一般会計の補正では、定額給付金と出産祝い金の対象にならなかった新生児に「プレミアム商品券」2万2,000円分を支給することなどが全会一致で承認されました。

■プレミアム商品券の支給対象の期間

平成21年	
4月1日	2/2~3/31
横瀬町出産祝い金の基準日	プレミアム商品券を支給 この期間に生まれた赤ちゃんが対象 
	2/1
	定額給付金の基準日

横瀬町国民健康保険税条例の一部改正

介護給付金の課税限度額を9万円から10万円に引き上げるものです。



横瀬町職員の給与に関する条例等の一部改正

議員、特別職の期末手当を0・15カ月分引き下げ、職員については期末・勤勉手当をあわせて0・2カ月分引き下げるものです。

横瀬町税条例等の一部改正 専決処分

住宅ローン控除後の個人町民税額の改正や土地等の長期譲渡所得に係る特別控除の創設などによる改正です。

以上の議案については、賛否両論があり、賛成多数で承認されました。

提出議案と審議結果

《5月臨時会》

■専決処分

- ・横瀬町税条例等の一部改正

■条例の一部改正

- ・横瀬町職員の給与に関する条例
- ・横瀬町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例
- ・横瀬町長及び副町長の給与等に関する条例
- ・横瀬町教育委員会教育長の給与等に関する条例

■平成21年度補正予算

- ・一般会計

以上、可決

《6月定例会》

■条例の一部改正

- ・横瀬町子ども医療費支給に関する条例
- ・横瀬町ひとり親家庭等の医療費支給に関する条例
- ・横瀬町重度心身障害者医療費支給に関する条例

■平成21年度補正予算

- ・一般会計

以上、可決

■人事

- ・横瀬町公平委員会委員の選任
- ・人権擁護委員候補者の推薦

以上、同意

人事

人権擁護委員に

一柳マサ子氏 (再任に同意)

平成21年9月30日で任期満了となるためです。

横瀬町公平委員会委員に

黒澤清治氏 (再任に同意)

平成21年5月30日で任期満了となったためです。

児童福祉法の一部改正により
規定を整備

横瀬町子ども医療費支給に関する条例の一部改正
横瀬町ひとり親家庭等の医療費支給に関する条例の一部改正

児童福祉法の一部改正・後期高齢者医療制度の対象者を明確化するため、規定を整備

横瀬町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正

児童福祉法の一部改正及び後期高齢者医療制度下における対象者の明確化を図るため、規定の整備をしました。

平成21年度補正予算

一般会計の補正として、1,200万円を追加しました。

主なものは、観光施設維持管理費や消防団員退職に対する報償金、中学校教育環境整備等です。

報告

道の駅の経営状況

前年より4万人増

道の駅(有果樹公園あしがくぼ)の経営状況が報告されました。

平成20年度は延べ85万人の利用があり、集客数は前年より4万人増えたこと。

例年のように、天候による影響等は否めませんが、秩父の東の玄関口としての果樹公園あしがくぼの存在価値は大きいと言えます。

主な質疑

問 イベント行事が昨年より減っているようだが。

答 本年は都内のアンテナショップの利用がなかったためです。

問 広場に出店する店が少ないようだが、今後増やす考えはあるか。

答 お客様の反応は好印象です。今後は人の流れを見ながら考えてまいります。

地域の皆様もちよっと一休みにお立ち寄りください



一般質問

町政を問う

6月定例会

橋りょう

Q 町内の公道にかけられている橋りょう施設の管理について

A 平成22〜25年までに点検し、修繕計画策定を検討します

藤澤治美議員

問 川や鉄道にかけられている橋りょう施設のコンクリートや鋼材の安全性と耐用年数を考慮して、メンテナンスやアフターケアが行なえる仕組みづくりについて伺う。また、民間区域のものについてはどうか。

答 建設課長 橋りょうは、50年〜100年の寿命でつくられています。橋固有の履歴で劣化が進行するため、メンテナンスは重要です。国の補助制度を受けて、平成22年度から平成25年にかけて点検・長寿命化修繕計画策定を検討しています。民



町民の生活を守る橋りょう

◆根古屋城址公園遊歩道について

問 根古屋城址公園遊歩道の活用と観光性を増すように、根古屋地区の文化財とあわせて考慮してほしい。季節感あ

る樹木への切り替えや杉材の活用の考えはどうか。

答 振興課長 史跡を回るための道として、整備しました。頂上の危険箇所は低木の

ドウダンを植栽しますが、高くなる樹木の植栽は考えていません。また、観光コースは駐車場の確保が必要となりま

す。杉材の活用は費用の点で無理のため、自然に返したいと思います。

答 町長 文化財とのさらなる観光性には地元の民意の醸成が重要です。オープンガーデンの例もありますので、観光協会長にも働きかけます。

水道

Q 水道事業の健全化は

A 計画的に対応します

若林清平議員

問 姿見山浄水場の老朽化が進んでいる。今後の整備計画は。また、赤谷地区の組合水

道の町営化計画は。

さらに、水利権の更新時にはいつも問題がある。角度を

変えて見ることが必要だと考えるがどうか。

答 上下水道課長 姿見山浄水場の老朽化については、中期経営計画等に位置づけて、計画的に取り組んでいきます。組合水道の町営化は議会

での請願採択に基づいて検討してきましたが、現在は簡易水道事業の統合計画を進めています。この計画を平成21年度中に策定して、国庫補助の対象にすることを最優先に考えていきます。

水利権の更新は、前回同様の内容で行なっています。

◆旧庁舎の取り扱い

問 旧庁舎は使用に耐えないとして現在の庁舎建設になった。取り扱いについて検討してきたが、現在どのように考えているのか。また、シルバー人材センターで利用して



旧庁舎

いるが、今後どのように考えていくのか。

答 まち経営課長 老朽化が進んでいるため、地域活性化経済危機対策臨時交付金を充当しての取り崩しを考えています。跡地は、当面駐車場に考えて、さらに検討していきます。

答 町長 シルバー人材センターの移転は秋ごろに完了してほしいと考えています。
●その他の質問 芦ヶ久保小学校跡地の利用計画について

里山整備

Q 里山、オープンガーデン等について、町の考えは

A 町民を中心に、円滑に進むよう町が協力するのがいい

大野隆雄議員

問 里山とオープンガーデン、棚田学校、地域運動などについて町の考えを伺う。さらに水源涵養林、ウォーターパークの活用・整備、そして自然豊かな芦小跡地利用をどう考えているか。

答 副町長 美しく、活気のある町は住みよい町です。里山整備は、オープンガーデンや棚田学校のように、町民の皆様を中心にして、ボランティアを受け入れるなど、円滑に進むよう町が協力する形がいいと思います。
水源涵養林は、この機能を高める森林整備が大切です。水源確保、洪水防止といった

対策は、下流も恩恵を受けますので、国、県の施策等を取り入れて実施していきたいと考えています。

答 建設課長 ウォーターパークは、今のところ利用は少ないが、県の水辺再生事業とリンクし、右岸、左岸を導線で結び、機能向上を図っていきたい。

答 まち経営課長 芦小跡地利用については、芦ヶ久保地区住民調査、町全体のアンケートを行ない、健康づくり、豊かな自然を活用したものを考えています。町の案をつくり、住民の意思を聞きた

財政

Q 町としての緊急経済対策は

A 国から方向性を示されています

大野 守議員

問 昨年から経済危機により、3月に大型補正予算を行ない、また今国会で15兆円にも上る補正予算が成立された。町にも交付金でかなりの金額がくると思われる。予算

の執行に関し、慎重に考えるべきだと思うがどうか。
答 副町長 町の総合振興計画に基づき、安心、安全の見地から緊急に行ないたい事業があるので、実施したいと考えて

いと思っています。
●その他の質問 「インフルエンザ・肺炎球菌」母子家庭・高齢者の家賃補助について



オープンガーデン No.50 鈴木氏の庭

います。省エネ対策については、将来的にも町の財政に有効ですので、考えていきたいと思っています。

問 この後はどのように推移していくと予想するか。

答 副町長 来年度以降の交付金についてはまだ分からない状態ですが、国の財政を考えると厳しくなると予想されます。

◆「花」によるまちづくりは

問 このところ、花などによる環境美化の取り組みが顕著である。町としての後押しはできないか。

答 振興課長 オープンガーデン開園式の様子が新聞等により報道されましたが、各地より問い合わせの電話が多くあり、関心の高さを実感しました。町としては県補助金を利用して、ガイドマップの作成をしたいと考えています。

問 数年前、実施した西武鉄道沿線のバラはどうなのか。
答 振興課長 各種団体の意見やアンケートを参考に、移植を含めバラを生かす対策をしていきたいと考えています。

知ってください!
議会活動



秩父町村議員クラブ (長瀬町・皆野町・東秩父村・横瀬町)

和紙の里で紙すき体験

日時：平成21年3月31日
訪問先：東秩父村「和紙の里」
参加数：議員5名

秩父地域の合併により、議員間交流が途切れがちでしたが、長瀬町・皆野町・東秩父村で構成していた秩父町村議員クラブに加入し、初めての研修会が東秩父村「和紙の里」にて行なわれました。広々とした庭園と紙すき体験ができる、村が力を入れている施設です。

紙すき体験に挑戦

係員の指導により恐る恐る体験しました。横瀬の道の駅でもそば打ち体験や陶芸体験をすることができますが、各観光地に行くと地方特産物などの観光体験を売り物にしています。これまでは、なかなか体験まではできませんでしたが、今回参加してみて、地域の特性・特産物などを肌で感ずることができました。

またでき上がった作品は愛着があり、思い出としても鮮烈になり、五感による観光施策を実感しました。

他町村の議員の方たちとも情報交換ができ、視野を広めるいい機会となり、有意義な研修となりました。

後日送られてきた作品もなかなかの(?)仕上がりで満足しました。



和紙の間に草花を入れて、完成した作品

平成20年度 人権標語特選作品

町づくり・家族のふれあい部門

わたしには 家族の笑顔が エネルギー
小門 星 (横小6年)

助け合い みんなで広げる 地域の輪
小泉敦志 (横中2年)

議会だより編集委員会

- 委員長 藤澤 治美 
- 副委員長 若林スミ子 
- 委員 新井 勝之 
- 委員 大野 隆雄 
- 委員 町田勇佐久 
- 委員 大野 守 

望みたいものです。(M)

小泉構造改革によって、平等社
会と言われた日本が、非正規社員
の急増など、先進国の中ではアメ
リカに次ぐ貧困大国になってし
まった。今度の総選挙では、ぜひ
この格差を少しでもなくす方向に
向けて努力される政治家の出現を

底がぬけたような景気の悪化に
ようやく歯止めがかかったが、深
刻な状況はまだしばらく続くであ
ろうと、政府の6月の月例報告が
出ました。

編集後記

